

令和元年度 厚生労働省委託事業

過重労働解消のためのセミナー

新しい時代に、 人々が求めている職場とは？

9月より全国47都道府県で開催！



働く人の健康を意識した働きやすい職場づくりが
人材不足解消のカギです

6 企業事例

(3) 株式会社 ON THE ROAD (調剤薬局)

●社員一人ひとりが私事ととらえ、トップが陣頭指揮を執ることが重要

改革に取り組んだきっかけ

薬剤師の採用は完全な売り手市場で、採用には人材紹介会社を経由することが多く、膨大なコストがかかっていた。また、新卒の学生は大手チェーン店に就職することが多く、優秀な人材の確保が至上命題となっていた。そのような中、就活生の多くが給料よりも労働時間や休暇などのワークライフバランスを重視していることをセミナーで知り、企業戦略としてワークライフバランスに取り組むことにより、他企業と差別化することで優秀な人材を確保することが必要であると考えた。

原因究明

- ・薬学部増加により、薬剤師の人数は増えてきているものの、大手調剤薬局の人材獲得競争が激化していることから、薬剤師の確保は困難を極めている。
- ・給与面での処遇よりも多様な勤務体系や休暇制度の充実などのワークライフバランスを重視する傾向が強まってきている。

制度導入と業務改善

■ 制度導入

1) パパママ休暇・おすそ分け休暇の導入

未就学児の子供がいる従業員は子供の誕生月に1日特別休暇を付与し、そのおすそ分けとして、休暇取得者の店舗内の従業員（同職種）にも1日休暇を付与する制度。従業員間の公平性を確保

2) 病気休暇（正社員：年4回、パート社員：年2回）を導入（特別休暇として）

3) 7月～9月の間で年休と合わせて全員1週間の夏休みを取れるよう調整

混雑期を避けて安い時期に旅行に行きたい人、お盆に実家に帰省したい人等、分散して休暇を取得

■ 業務改善

1) 業務を作業ごとに分析し、業務の偏りを分散

薬剤師と事務員の業務分担を見直し、業務の共有化・委譲を推進することにより長時間労働を防止

2) 費用対効果の低い営業時間を廃止し、開店時間を変更

3) マネジメントを強化し、業務の効率化を推進

店長が従業員の業務内容を把握し、優先順位をつけ効率化を指導

4) 事務職の在宅型テレワークを試行

薬剤師への適用も計画中



機械化により調剤作業が30分に短縮

取組を始める難しさ

当初社員は新たな休暇制度や業務改善が機能するのか疑問視していたが、社員との面談やアンケート調査等を実施し、社員の不安解消に努めた。社員の意識が変わるのに2～3年の時間がかかった。社員には「お互いさま」「協調性」「向上心」という理念を繰り返し説明し、理解を得る努力が必要であった。

取組効果・検証

社 内：最新鋭の設備の導入により、それまで人力で6時間かかっていた調剤作業が30分に短縮された。その結果、平均残業時間は10時間から3時間に減少、従業員・家族の満足度が向上し、優秀な人材の定着が図られた。男性社員が育休を取得するなど、社員の意識に変化が見られるようになった。

当社のワークライフバランスへの取組を評価し、応募してくる新卒の学生等が増加した。

今後の展望：8月から新たに介護ビジネス（デイサービス）をスタートさせた。事業の拡大には優秀な人材の確保が重要であり、ワークライフバランスの充実が人材確保に大きく貢献していると考えている。

体験談・メッセージ

新たな取り組みを成功させるには、社員一人ひとりが私事ととらえ、トップが陣頭指揮を執ることが重要である。8月からスタートさせた介護ビジネスでは10名の募集に対し125名が応募し、優秀な人材を採用することができた。新たなビジネスを始める介護事業所にはこのような制度はまだ導入していないが、社員には、デイサービスにいらっしゃる利用者様に「また来たい」と言ってもらえるような事業所を作ることで、育児と仕事あるいは介護と仕事を両立させる仕組みを自ら勝ち取るよう話している。

会社概要

株式会社 ON THE ROAD

社 名	株式会社 ON THE ROAD
代 表 者	代表取締役 岩倉 英雄
所 在 地	神奈川県横浜市港北区榎町1-23-9 サンライズ大倉山106号
設 立	2006年9月

資 本 金	500 (千円)
従 業 員 数	27 名
事 業 内 容	調剤薬局およびデイサービスの経営
ホームページ	http://ontheroad.jp.net/